

日時：2021 年 3 月 5 日（金）17:30～19:30

場所：Microsoft Teams を用いたリモート会議

出席者：羽入敏樹（主査）、矢入幹記（幹事）、豊田政弘（幹事）、中川武彦、池上雅之、富高隆、佐久間哲哉、中澤真司、平光厚雄、坂本慎一、漆戸幸雄、山内崇、石渡智秋、富来礼次、川井敬二、佐藤洋、古賀貴士（前主査）、富田隆太、濱田幸雄（敬称略）

提出資料：

資料4-0 2020年度第4回音環境運営委員会議事次第

資料4-1 2020年度第3回音環境運営委員会議事録（案）

資料4-2 環境工学本委員会（第4回）資料

資料4-3 音環境研究の社会還元促進（議論まとめ）

資料4-4 室内音響小委員会 啓発コンテンツWG note掲載承認手続きルール210210

議題：

前回議事録（2020 年度第 3 回）を確認した。承認（資料 No.4-1）。

1) 環境工学本委員会の報告（資料 No.4-2）

- ・ 次期環境工学本委員会委員長選挙で秋元先生（芝浦工大）が内定、組閣は後日行われる。
- ・ 議事録の確認：大賞候補者として安岡先生を推薦、技術報告集編集員として佐藤逸人先生を選出、OSは吸音関係で6件の応募をすべて採用、AIJES刊行方針検討委員会WG委員として池上さんを選出。
- ・ 学術推進委員会：大会開催方針は完全オンライン、講演発表はオンデマンド、質疑はリアルタイム、研究集会はウェビナー、申込時にはSDGsのゴールをチェック、学術論文集は4月から完全オンライン化。
- ・ 建築学会SDGs宣言案：環境工学からは秋元先生が委員、SDGsの行動方針7つのテーマが設定され、3/1にシンポジウムが開催された。
- ・ 東日本大震災10周年シンポジウム：3/6開催予定。
- ・ 来年度予算：昨年並みの予算が組まれるとのこと、予算消化率で次年度予算を決めるというルールをやめるという案が承認された。
- ・ 竹中育英会助成候補が募集されているとのこと。
- ・ 2021年度大会の研究集会：4日目の午後開催に決定、研究協議会では杉江さんが講演予定。
- ・ プログラム編成会議：オンラインで実施（詳細未定）、編成方針案に意見があれば3/7午前中までに事務局に連絡、梗概は例年通り、スライドはオンデマンド、質疑はリアルタイム、質疑の持ち時間は一般5分、OS10分、若手優秀発表賞は個別に質疑、1セッションあたり9題、セッション間の休憩20分、発表を事前に見る時間をとるのは大変なのでは？いつを発表した日とみなすのか？>事務局の明確な回答はなし、発表登録と参加費の同時請求>各段階でNO SHOWの可能性あり。
- ・ 若手優秀発表賞の実施概要：意見があれば次回本委員会までに修正>音環境は変える必要は特にないかも、30才未満というのはいかがか？大学院終了後2年とかが妥当なのでは？>事務局としてはテクニカルな観点から難しいとのこと。
- ・ 刊行計画：500部以下の場合には強制的にPDFとして電子化。
- ・ 委員の委嘱・解嘱の紹介。
- ・ AIJES刊行方針検討WG：幹事として上野先生、委員として池上さんが参加。
- ・ 音シンポジウム（STI関連）が開催された。
- ・ 環境工学委員会+関東支部環境工学専門調査研究委員会が開催された。

- ・ メールマガジン：誰に送られているかは完全には把握できていないとのこと。
- ・ 次期委員会への引継ぎ：持田先生が活動概要と課題などを引継ぎ事項としてまとめた。
- ・ 注意事項：今年度で委員会・WGを廃止する場合年度末でオンラインストレージが削除される，3/19までにバックアップをとること，名称変更の場合も同様
- ・ 注意事項：一ノ瀬さんが異動されるとのこと，来年度からは伊佐野さんと伏見さんがご担当。

2) その他報告事項

- ・ 2021年度委員会構成：次期主査は坂本先生，幹事は河原塚さんと平栗先生。
- ・ 音環境研究の社会還元促進についての議論まとめ（資料No.4-3）：羽入主査からまとめ資料のご紹介，現状認識，社会還元が十分できていない理由・課題，社会還元促進案，情報の専門性と内容vs情報発信の対象・手段に関する重要度の表。
 - ＞ 音環境運営委員会で議論の場をつくりたいということで始めた，音環境分野はもっと社会貢献できるだろう。
 - ＞ 基準・法律・仕様がなくて難しい。保育施設は動きが軽い。社団法人で月に1回オンラインセミナー，反応○。大学教育はそれほど大きくない。小中学生では理論抜きで音の重要性を理解できないかも。保育施設・高齢者施設などある領域でひとつの山を作ってしまうと，そこから波及するのは（突破口，キラーコンテンツをつくる）。小学校ではグループワークが増えている，多群会話空間だと吸音が必須。例えば暗騒音40dB，残響時間0.6秒とか。文科省の50dBは先生の声量から決まっている。相談窓口・情報発信する組織が必要。

3) 審議事項

- ・ 特になし。

4) 各小委員会・WGの活動報告

① 固体音小委員会

- ・ 集合住宅1物件の3住戸を対象として，複数の手法で床衝撃音レベル，駆動点インピーダンスレベルを予測し，実測値との対応などを検討した。また今後のケーススタディ対象として集合住宅2物件の床衝撃音レベル8室，駆動点インピーダンス7室の実測データを新規に収集した。
- ・ 固体音に関連した国際学会（Inter-Noise, ICA, ICSV）の発表論文のレビューを行った。
- ・ 委員から提供された技術情報に関する意見交換，固体音小委員会では今後取り組むべき課題に関する意見交換を行った。
- ・ 新型コロナ感染症の流行の影響で，小委員会の開催が計画の半分の3回（10/30，1/28，3/2）となってしまい，進捗にも遅れが生じたことから自己評価はBとした。
- ・ 次期から主査は平光委員（国総研）に交代する。

② 集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会

- ・ 「集合住宅の遮音性能・遮音設計の考え方」をAIJES化するための活動の一つとして，鉄道騒音の測定・評価方法の検討を継続して行っている。本年は，聴感実験の音源を収録し，試験用音源の作製などを行ったが，新型コロナ感染症の流行の影響で，小委員会の開催が予定を含めて2回となり，聴感実験の実施にも遅れが生じた。以上の状況を総合的に判断して自己評価はBとした。

③ 建築音響測定法小委員会

- ・ 遮音性能の単一数値評価量の適用に関する情報収集：A 特性による遮音性能評価を行う際の測定上の課題について，実測や試算結果をもとに検討し整理した結果に関し，騒音制御工学会春季研究発表会での報告の是非について協議，検討した。
- ・ 音響数値解析を利用した測定法の改善に関する検討：音響数値解析による測定法改善について，数値解析小委と協働を視野に検討テーマ，方向性について検討をすすめた。また，コロナ渦での実験の進め方について

も検討、協議を行った。

- ・ シンポジウムの企画：シンポジウム開催の可否について協議、検討した。その結果、実験、解析の進捗状況、社会的情勢を鑑み、延期することとした。
- ・ 次期主査な曾田委員（長谷工）

④ 室内音響小委員会

- ・ 1月13日に第4回を開催：今後のさらなる室内音環境向上のための活動に対する意見交換、残響時間測定に関するJIS化 AIJESでの引用規格がない、吸音材料の不燃材料問題、防災関係者との意見交換の必要性、吸音 AIJES 検討を早く進める、などが話し合われた。
- ・ 今年度の活動について：室内音響委員会は必要な活動のためのWGを設立し、それぞれが活動が主な成果となっており、各WGの活動内容は以下のとおりであり、それぞれ成果を出している。
- ・ インパルス応答予測計測WGは、STIに関するシンポジウム開催成果発表。成果を発表して解散するが、HPコンテンツは更新し継続して運用。
- ・ 子どものためのWGは、他団体への協力などを行い啓発活動継続。
- ・ 啓発コンテンツWGは、noteでの発信のための準備を終了。今後コンテンツ掲載段階に移る。
- ・ 吸音設計AIJESWGは骨格検討進行中。
- ・ noteへの記事掲載時のルールについて説明(資料No.4-4)、目的、掲載内容・承認方法、問い合わせの対応 > 事務局は承認

⑤ 音響数値解析小委員会

- ・ 「シミュレーション活用データベース」について、問題案や解析事例に関する議論を行った。複数の具体的な解析事例と提示方法の例が報告された。
- ・ 2011年に出版した「音環境の数値シミュレーションー波動音響解析の技法と応用ー」から周辺技術の進歩や適用事例の増加に対応した第二版の刊行に向けて刊行小委員会を設置した。原稿管理のサーバを立ち上げるとともに、執筆を開始した。本年度末を1次原稿の締切としている。
- ・ 本年度のシンポジウム開催に向けて検討を行ってきたが、新型コロナの影響を受け、来年度以降に延期とした。感染拡大状況が収まっておらず、開催時期の決定は難しいが、シンポジウム内容については継続して議論を行った。
- ・ シミュレーション活用データベースおよび書籍刊行についてはほぼ予定通り活動が進んでいるが、中間年度としてシンポジウム開催に向けて準備してきたものの来年度以降に延期となったため、小委員会活動の自己評価はBとした。

⑥ 音環境規準検討小委員会

- ・ 第2回目を1/8(金)に開催。
- ・ 学校施設およびスピーチプライバシーのAIJESの講習会の進捗を確認。
- ・ 2020年度小委員会活動成果報告に関する審議。
- ・ 来年度以降の体制、活動内容に関する議論を実施。
- ・ 次期主査は、池上さん(大林組)の予定。
- ・ 次回は、3/26(金)を予定。

⑦ 企画・広報WG

- ・ 「企画・広報WGのあり方(今後の活動内容について)」を議論
- ・ 目的：本WGは設立当初から、主に施設見学会等の企画・運営を行ってきたが、昨今では様々な事情により施設見学会の開催は困難であり、新たな活動を模索する必要があるため。
- ・ 成果(議論内容)：①建築音響に対する意識・興味向上に向けた仕掛け(主に学生や建築設計者)、教育的コンテンツの拡充、建築音響に関する一般的な計算シート等の公開(具体的な計算例や解説付き)、公開可能な

施設の見学会（大学やゼネコン技研等）

- ・ 従来の取り組み（建音検索や法規制・規格・基準動向調査）は継続して実施
- ・ 今後は他小委員会との横断的な活動についても検討を行う
- ・ 建音検索用サーバーを外部サーバーから AIJ サーバーへの移行検討中
- ・ 来期体制：主査は日大の星先生へ交代
- ・ 前回運営委員会以降の活動状況：12/8 第 20-2 回 WG 開催（Teams，上記活動報告内容参照），3/26 第 20-3 回 WG 開催予定（Teams）

⑧ その他

- ・ 司法支援建築会議，5/17 司法支援建築会議全体会議の後半に建築紛争フォーラムの内容でシンポジウムを開催，テーマ「住宅の建築紛争事例にみる専門家の説明責任」，基調講演に東京地裁の判事さん，環境分野の主題解説に吉野先生・稲留さん，建築会館ホールと Zoom の併用，催し物に会告が掲載される予定。

5) 他学会・研究会の予定

- ① 日本音響学会・建築音響研究会：2021/3/29 オンライン，2021/4/27 オンライン・実験施設ライブビューイングを予定，その他 HP 参照
- ② 日本音響学会・騒音振動研究会：HP 参照

6) その他

- ・ 退任される幹事・委員から一言。

以上